

2024年度 第2四半期(中間期) 決算説明会

2024年(令和6年)11月26日



©2008 NETUREN designed by MONDO DESIGN

- 01** 2024年度 第2四半期(中間期) 決算の概要
- 02** 経営実績の推移
- 03** 第16次中期経営計画の進捗
- 04** Appendix



01 2024年度 第2四半期(中間期) 決算の概要

02 経営実績の推移

03 第16次中期経営計画の進捗

04 Appendix



1. 2024年度 第2四半期(中間期) 連結決算の概要

- 売上高 : 建設機械や工作機械業界からの受注が減少
自動車業界からの受注は回復基調で推移
更に円安影響などにより、前年同期比2.5%の増収
- 営業利益 : 販売価格改定後の売上が増加、前年同期比23.8%の増益
- 経常利益 : 営業外費用に為替差損25百万円を計上(前年同期は92百万円の
為替差益)、前年同期比2.3%の減益
- 親会社株主に帰属する中間純利益: 前年同期比9.4%の減益

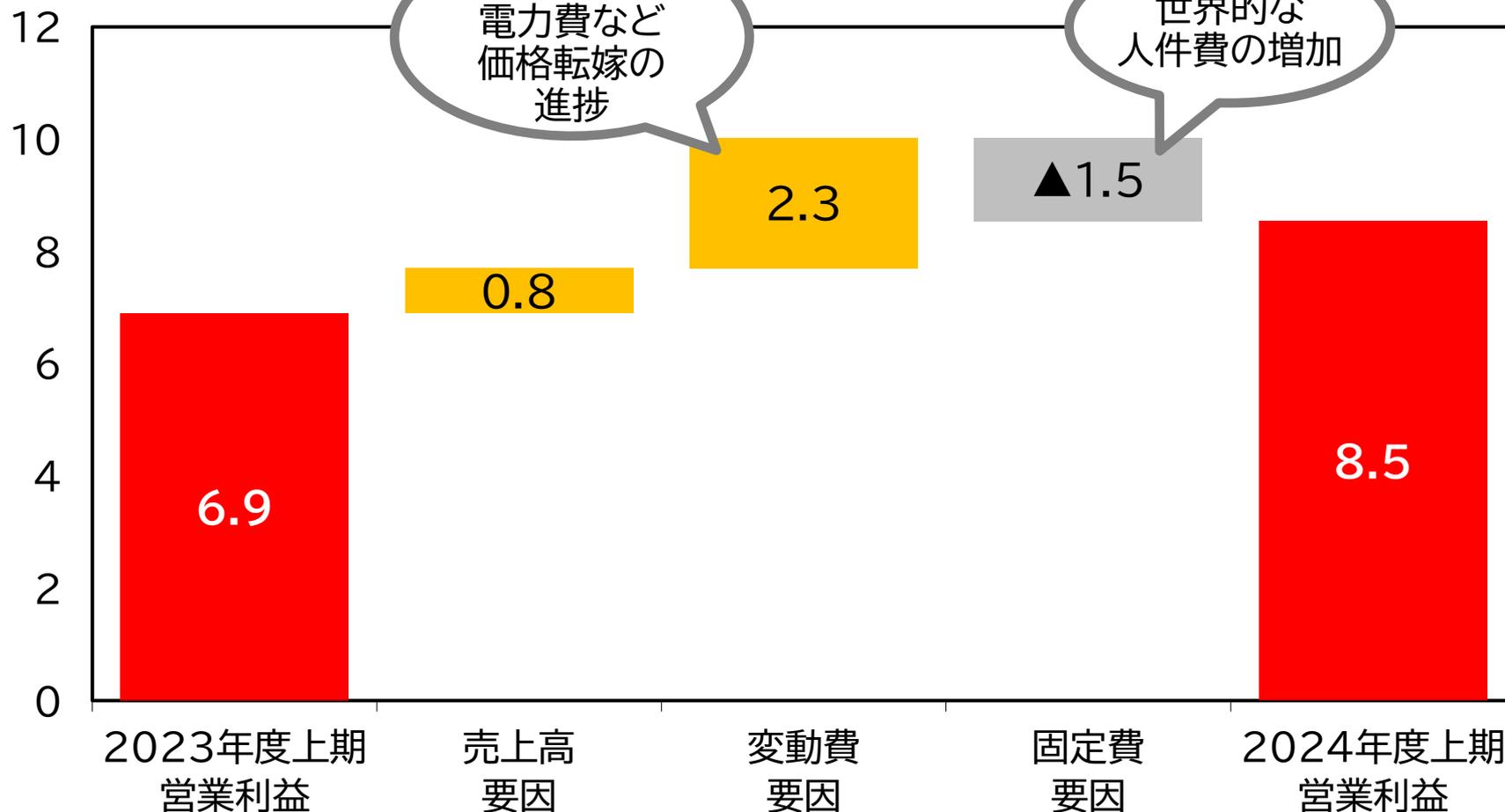
(単位:百万円)

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減	増減率
売上高	28,302	29,002	700	2.5%
営業利益	690	854	164	23.8%
経常利益	1,182	1,154	▲27	▲2.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	678	615	▲63	▲9.4%

2. 連結営業利益の増減要因

- 売上高・変動費要因は、増益
- 固定費要因は、減益

(単位:億円)



3. セグメント情報(連結売上高)

- 製品事業部 土木業界 : 業界全般の低迷が継続
 関連事業 : 建築業界 : 当社製品が採用された案件が増加に転じる
 建設機械業界 : 市況低迷が継続
 自動車業界 : 中国・米国の景気後退懸念がある一方、円安の影響や国内における挽回生産が増収に寄与
- IH事業部 熱処理受託加工関連: 自動車業界の売上は回復基調で推移
 関連事業 : 建設機械および工作機械業界の売上は低調
 誘導加熱装置関連 : 受注が堅調に推移

(単位:百万円)

事業区分	主な製品・サービス	2023年度 上期	2024年度 上期	増 減	増減比
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線ITW® 中空ラックバー 旋回輪(建設機械部品)	18,394	18,609	214	1.2%
IH事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置・サービス	9,837	10,322	485	4.9%
そ の 他	賃貸事業ほか	70	71	0	1.4%
合計		28,302	29,002	700	2.5%

4. セグメント情報(連結営業利益)

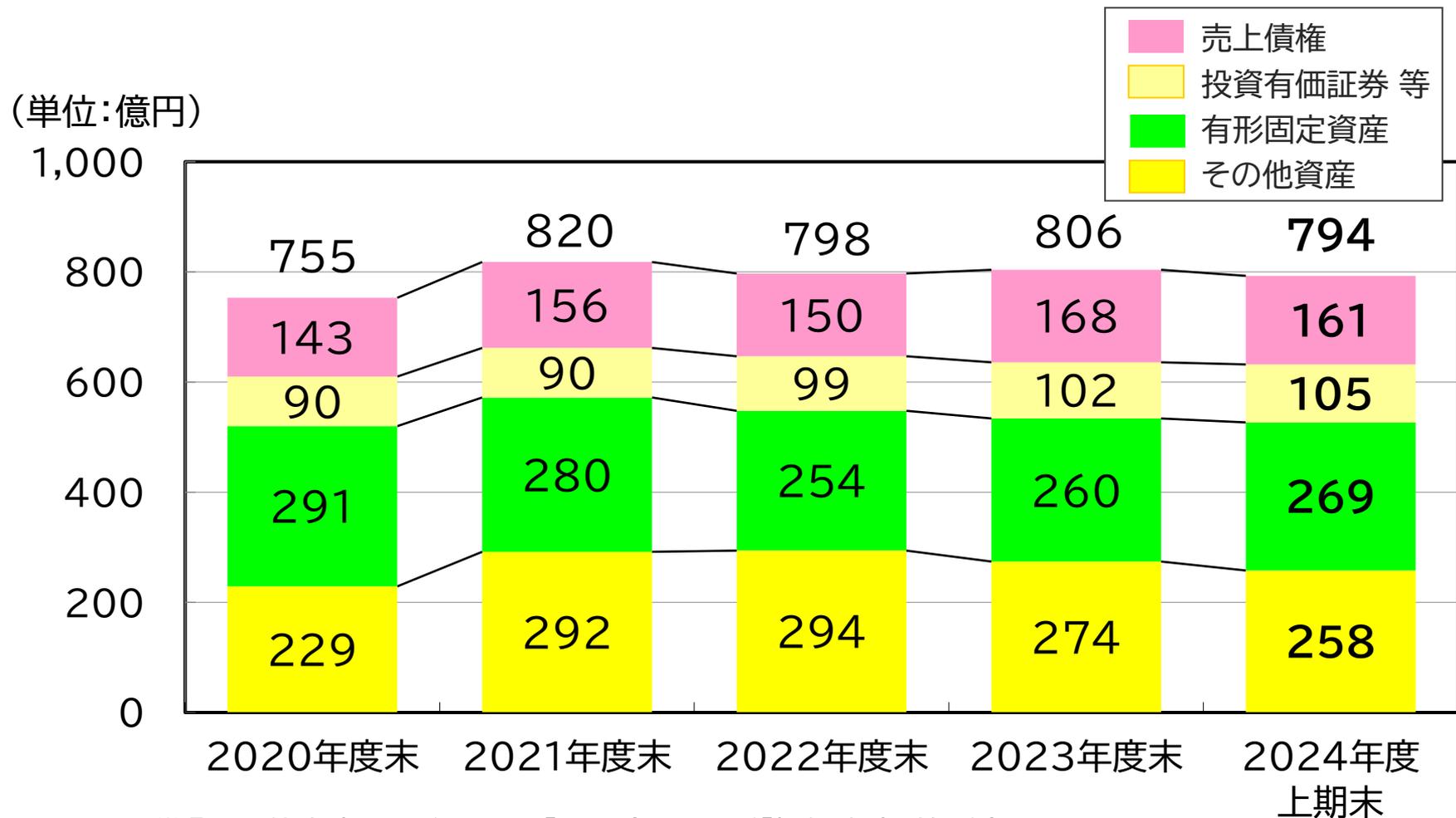
- 製品事業部
関連事業： 建設機械向けの売上は低調に推移
販価改定後の建築業界向けの売上が徐々に増加
全製品において販価改定後の売上が増加
- IH事業部
関連事業： 熱処理受託加工関連： 自動車業界は、販価改定効果、原価低減効果あり
建設機械や工作機械業界からの受注減少
誘導加熱装置関連： 売上が堅調に推移

(単位:百万円)

事業区分	主な製品・サービス	2023年度 上期	2024年度 上期	増 減	増減比
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線ITW® 中空ラックバー 旋回輪(建設機械部品)	86	148	61	71.7%
IH事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置・サービス	572	676	103	18.1%
そ の 他	賃貸事業ほか	29	27	▲1	▲5.5%
	セグメント間取引消去	2	1	▲0	▲8.0%
	合計	690	854	164	23.8%

5. 資産残高の推移(連結)

- 総資産は、自己株式取得や配当金支払いにより現預金が減少し、前年度末比12億円減少
- 投資有価証券等に含まれる「政策保有株式」の銘柄数は、毎年縮減しており、2019年度比で63.3%減少したものの、株価上昇のため増加

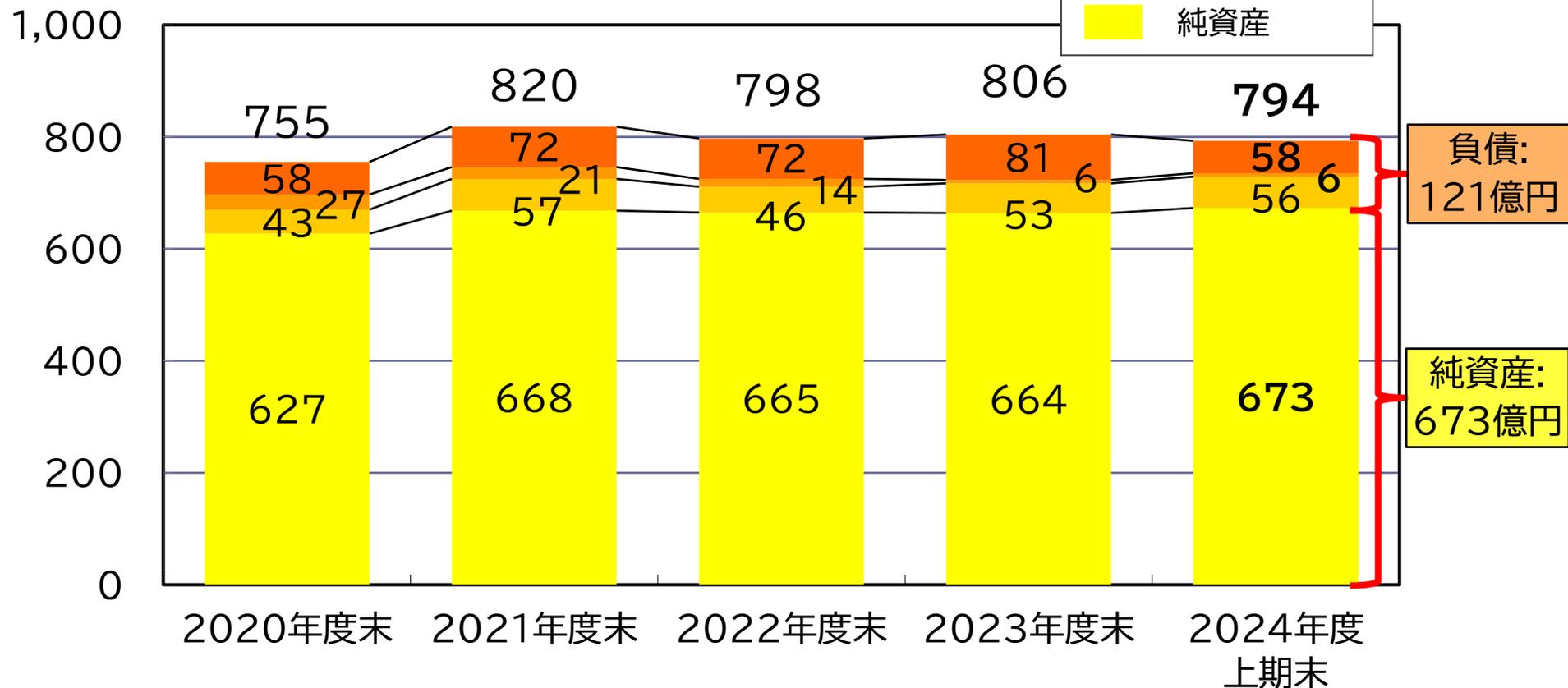


※『その他資産』は、主として「現預金」および「棚卸資産」等が含まれております

6. 負債・純資産残高の推移(連結)

- 負債 : 仕入債務の減少により前年度末比20億円減少
- 純資産 : 積極的な自己株式取得を実施したものの、円安による為替換算調整勘定が大幅に増加したことなどにより、前年度末比9億円増加

(単位:億円)



7. キャッシュ・フロー(連結)

- 営業CF: 売上債権は減少したものの、仕入債務が減少したことなどにより前年同期比減少
- 投資CF: 有形固定資産の取得などにより前年同期比で微増
- 財務CF: 自己株式取得や配当金の支払いがあったものの、借入金の返済額が減少したため、前年同期比増加

(単位:百万円)

科 目	2023年度 上期	2024年度 上期	増 減
税金等調整前中間純利益	1,208	1,180	▲27
減価償却費	1,160	1,154	▲6
売上債権の増減	▲649	1,163	1,813
仕入債務の増減	543	▲2,460	▲3,003
その他	▲99	▲684	▲584
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,164	354	▲1,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,362	▲1,300	62
フリーキャッシュ・フロー	801	▲945	▲1,746
借入金	▲708	▲5	703
自己株式の取得	▲952	▲1,106	▲153
配当金の支払額	▲565	▲905	▲339
その他	▲1,116	▲492	624
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,344	▲2,509	834
キャッシュ・フロー中間期末残高	14,904	11,811	▲3,092

01 2024年度 第2四半期(中間期) 決算の概要

02 経営実績の推移

03 第16次中期経営計画の進捗

04 Appendix

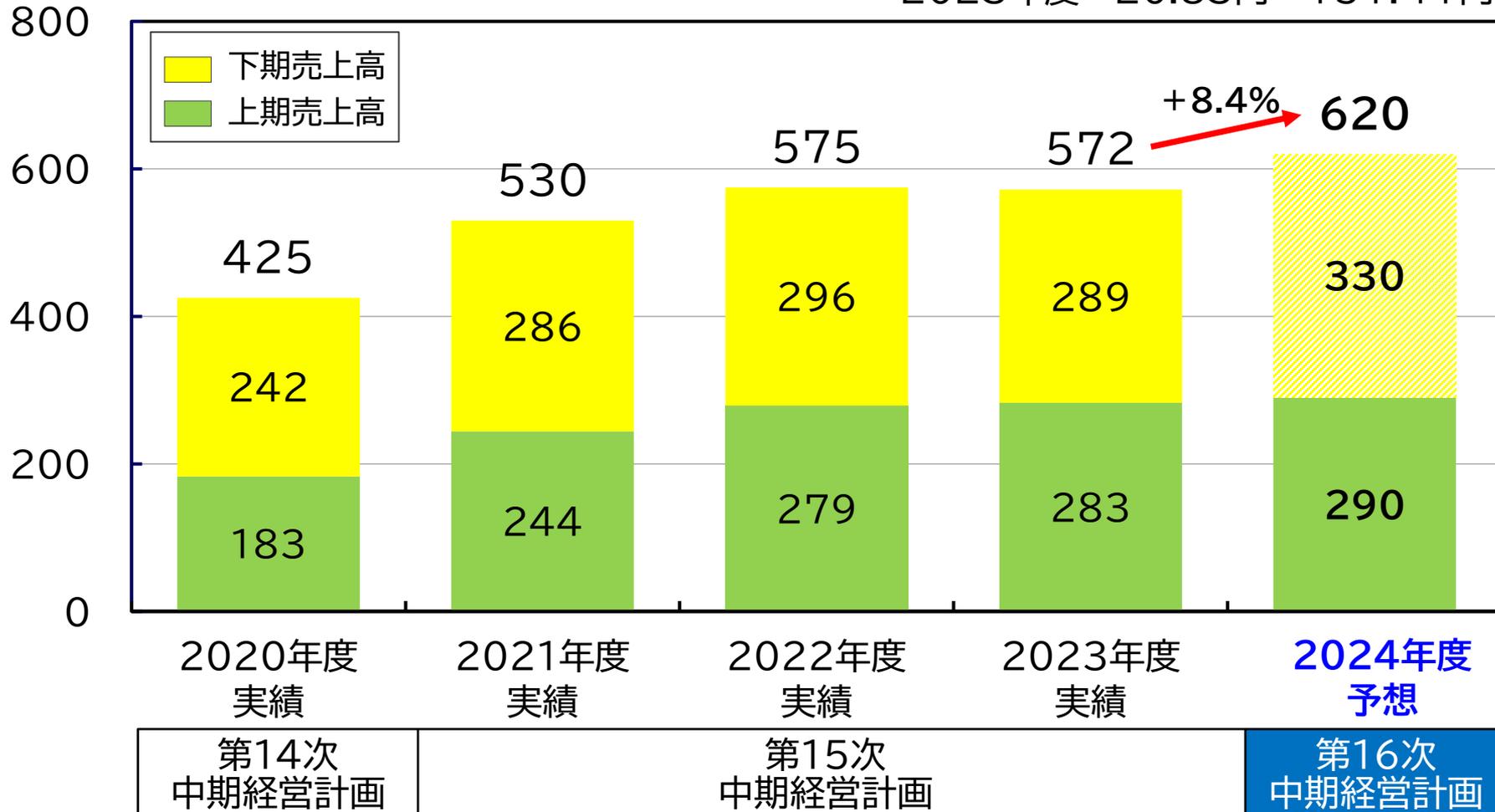


8. 連結売上高の推移

- 自動車業界や建築業界からの売上が堅調に推移する予想
- 販価改定の進捗により売上は増加予想、当初計画どおり620億円を見込む

【換算レート】	中国元	USドル
2024年度	20.46円	142.73円
2023年度	20.83円	151.41円

(単位:億円)



2020年度
実績

2021年度
実績

2022年度
実績

2023年度
実績

2024年度
予想

第14次
中期経営計画

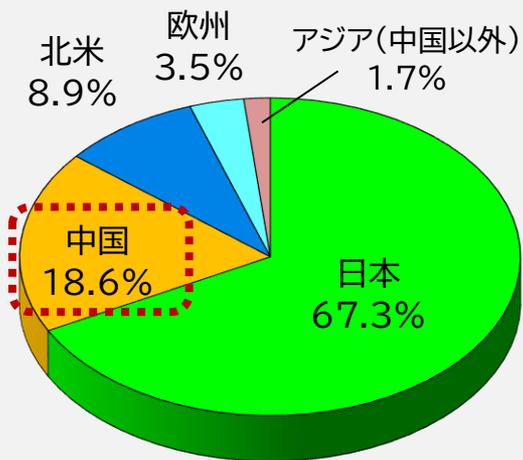
第15次
中期経営計画

第16次
中期経営計画

9. 地域別売上高比率の推移

- 中国においては、景気減速の影響を受け売上が減少する見込み
- 海外売上高比率は、前期比微減の36.1%を見込む

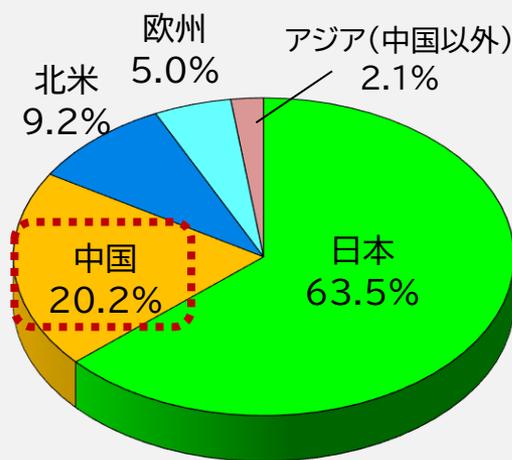
2022年度 実績



海外売上高比率

32.7%

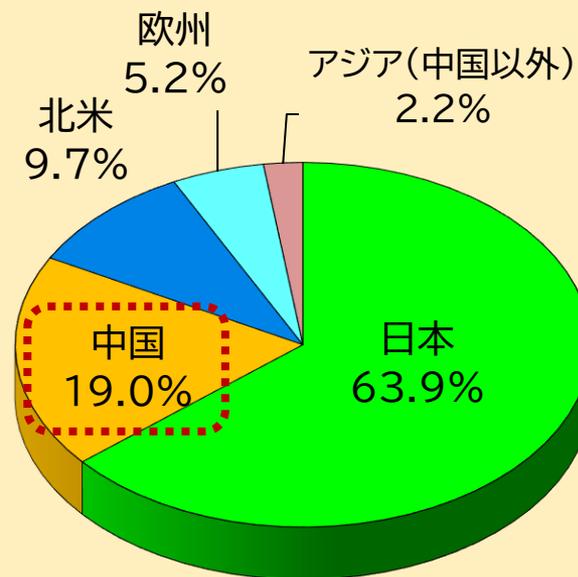
2023年度 実績



海外売上高比率

36.5%

2024年度 予想



海外売上高比率

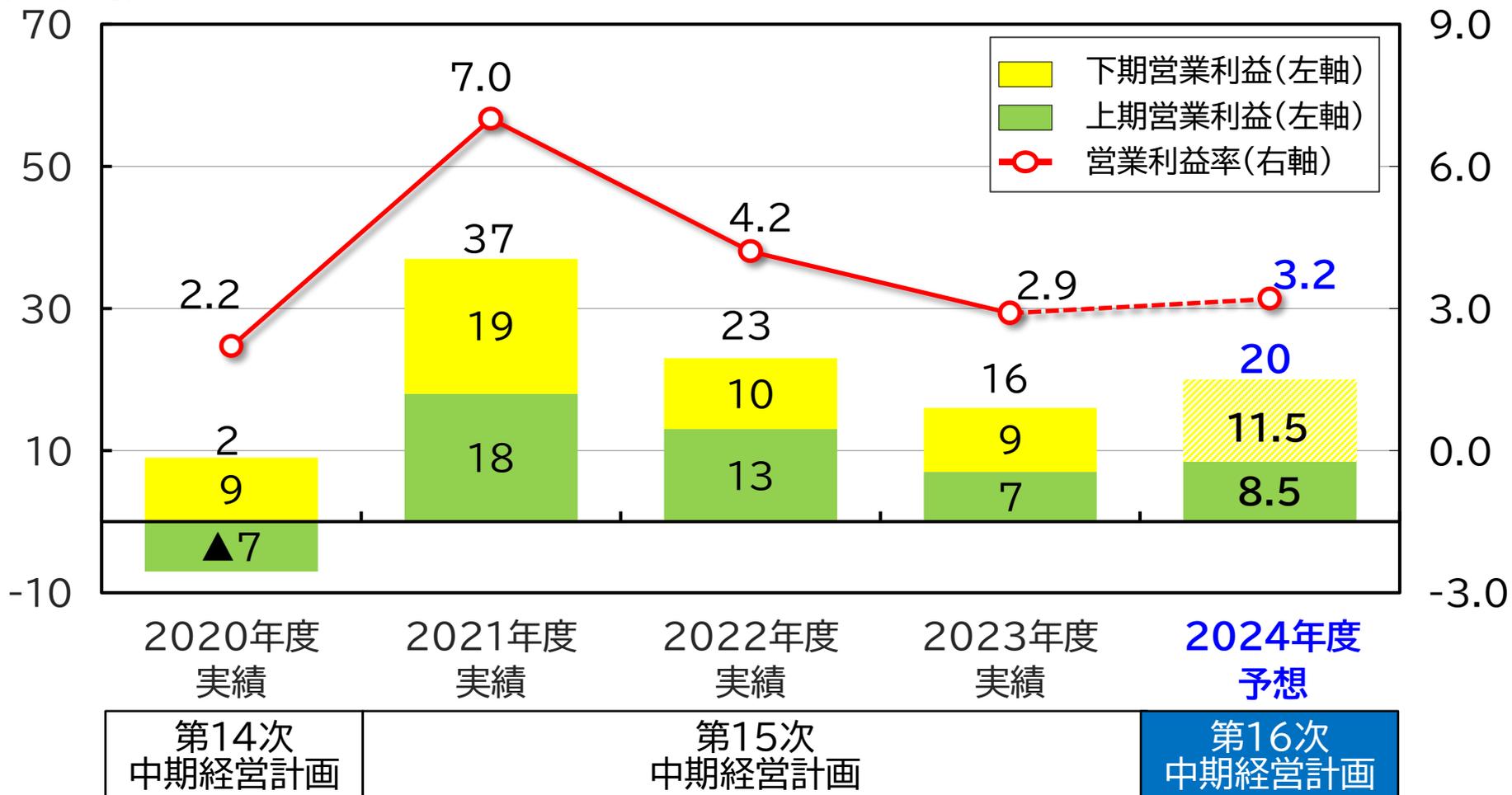
36.1%

10. 連結営業利益・営業利益率の推移

- 建築業界向けは販価改定した製品の売上が、下期で更に増加する見込み
- 販価改定の進捗や原価低減効果などから、営業利益は当初計画どおり20億円を見込む

(単位:億円)

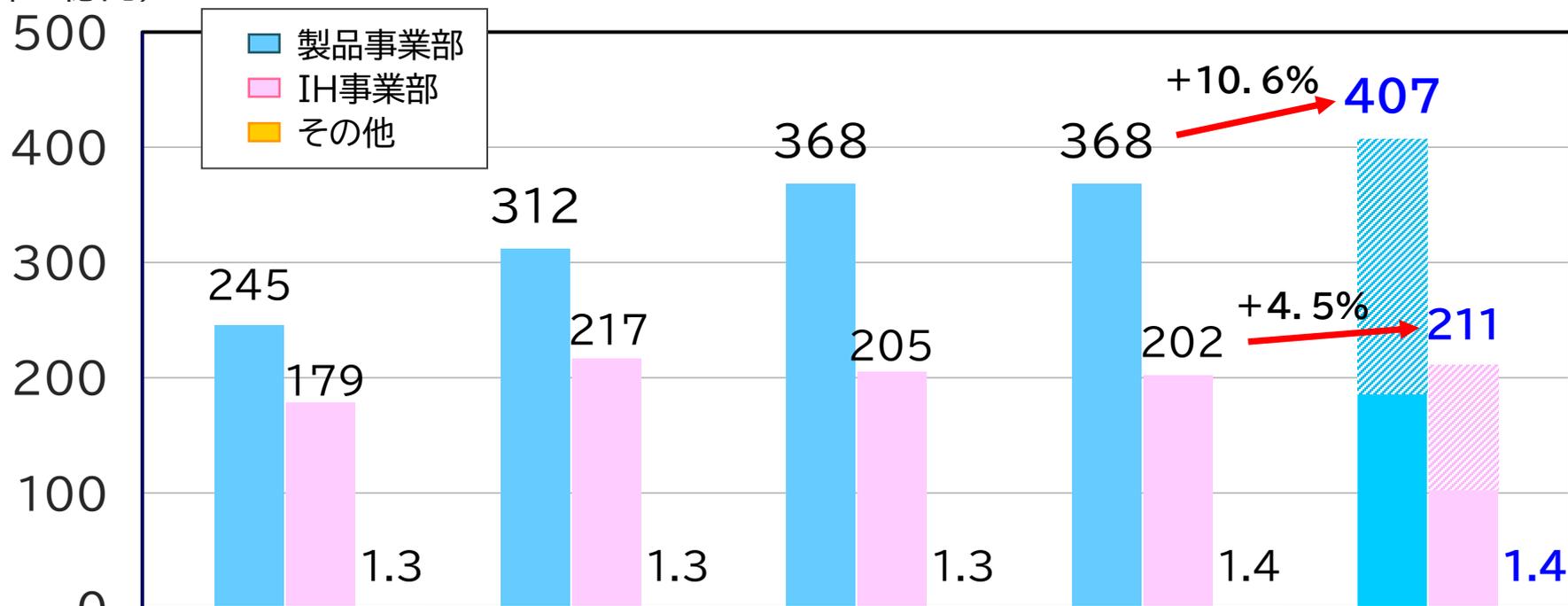
(単位:%)



11. セグメント情報(連結売上高推移)

- 製品事業部 ITW®の販売が堅調に推移、建築業界向けは販売価格改定後の売上が増加、
関連事業：当初計画どおり増収見込み
- IH事業部 熱処理受託加工関連の建設機械や工作機械業界売上が低調に推移
関連事業：自動車業界からの売上は堅調に推移、装置関連の売上は増加
当初計画どおり増収見込み

(単位:億円)



2020年度実績

2021年度実績

2022年度実績

2023年度実績

2024年度予想

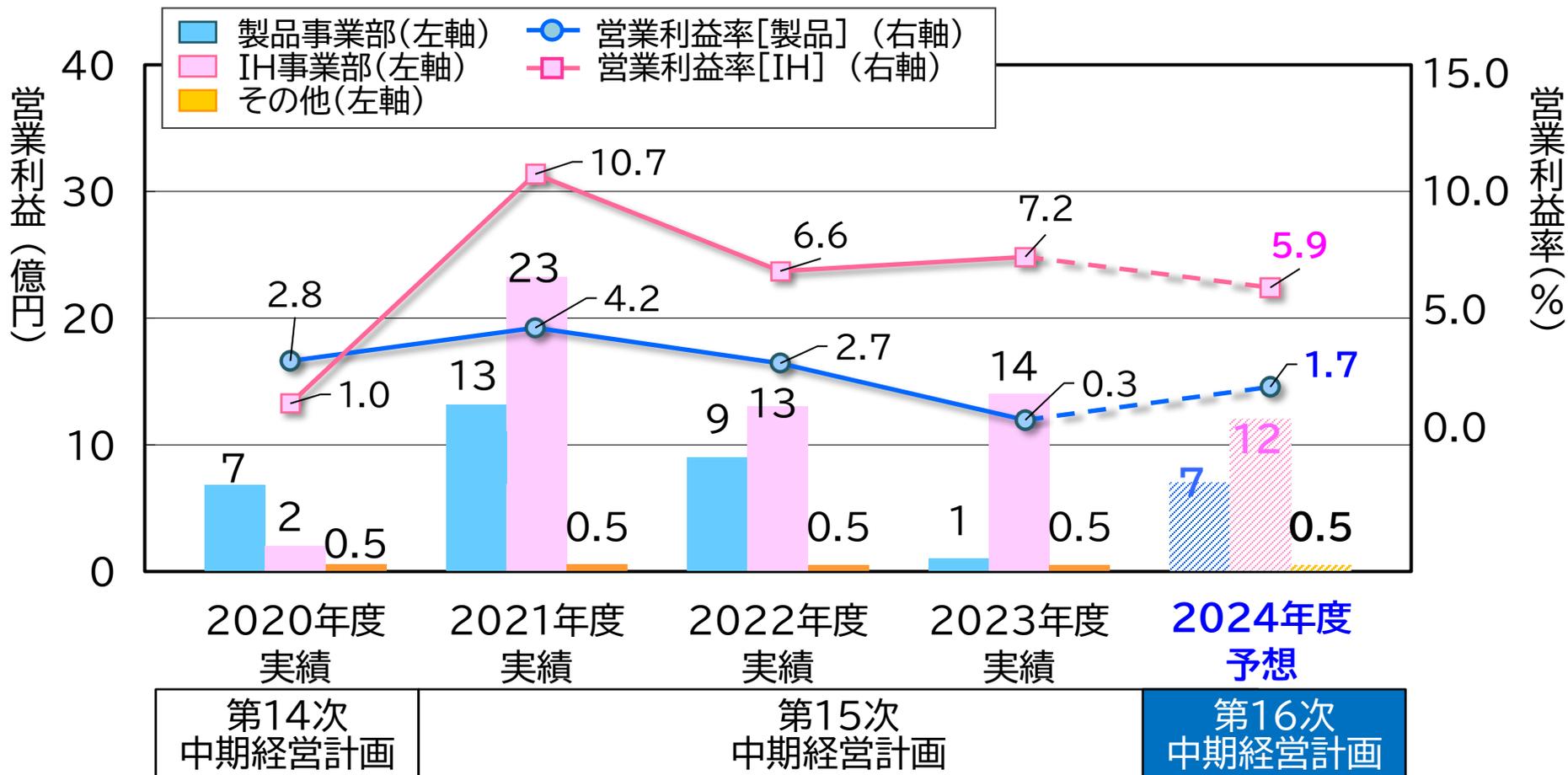
第14次
中期経営計画

第15次
中期経営計画

第16次
中期経営計画

12. セグメント情報(営業利益・営業利益率推移)

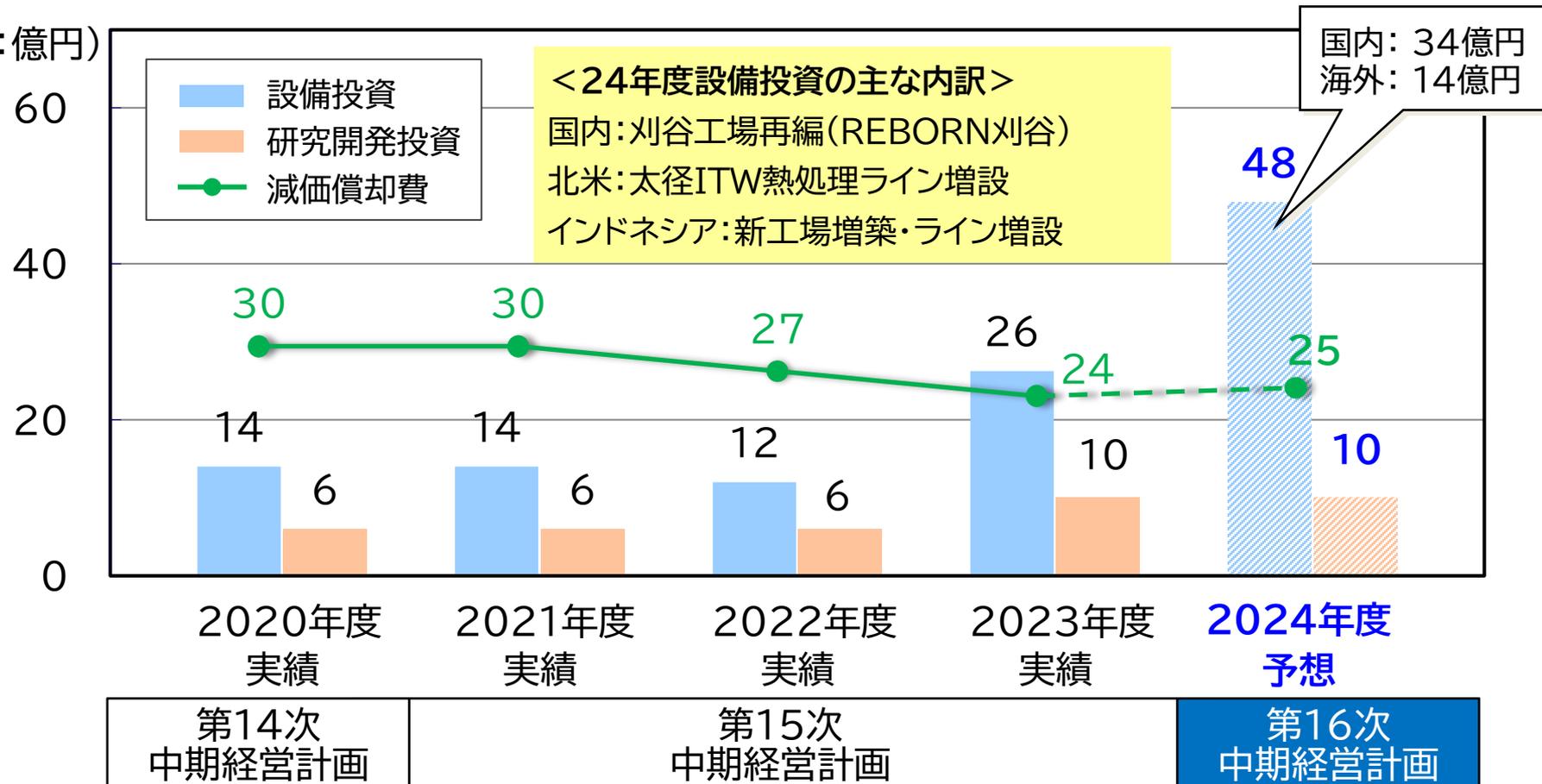
- 製品事業部 建築業界向けは販価改定後の売上が更に増加、ITW®も堅調
 関連事業：建設機械業界からの売上減をカバーできず、当初計画より2億円減益の見込み
- IH事業部 受託加工の建設機械や工作機械業界の売上が低調に推移
 関連事業：一方、自動車向け受託加工や装置販売は堅調に推移
 販価改定効果や原価低減効果もあり、当初計画より2億円増益を見込む



13. 設備投資/研究開発費/減価償却費の推移

- 設備投資：事業ポートフォリオの成長戦略に基づき、積極的な設備投資を計画
一方、中国の大型案件を中心に約10億円を次年度へ繰り越し
- 研究開発費：新たな成長ドライバー創生に向けての取り組み強化
開発中案件の早期市場入を目指し、試験機等を導入し、開発のスピードアップを図る

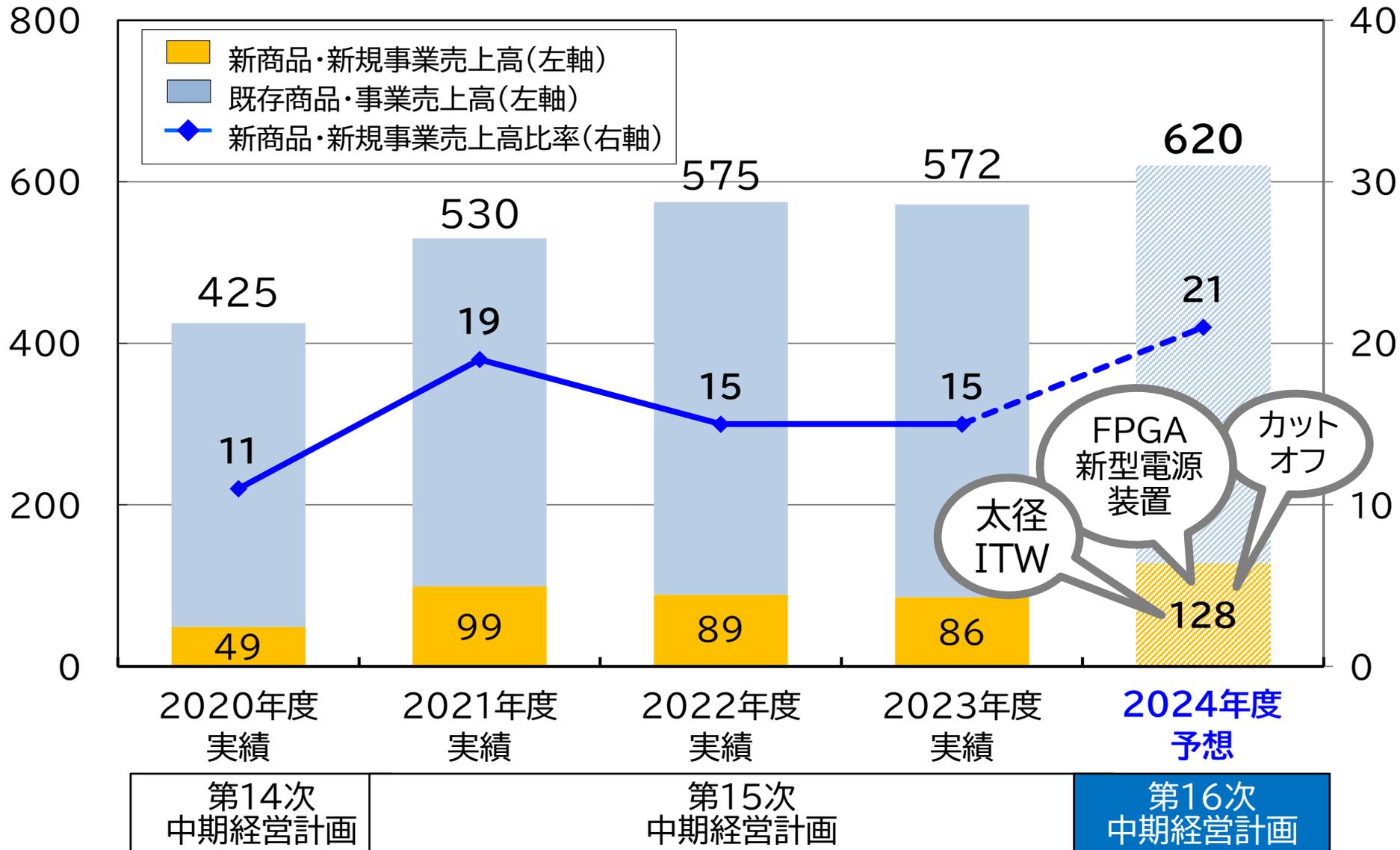
(単位:億円)



14. 新商品・新規事業の売上高推移

(単位:億円)

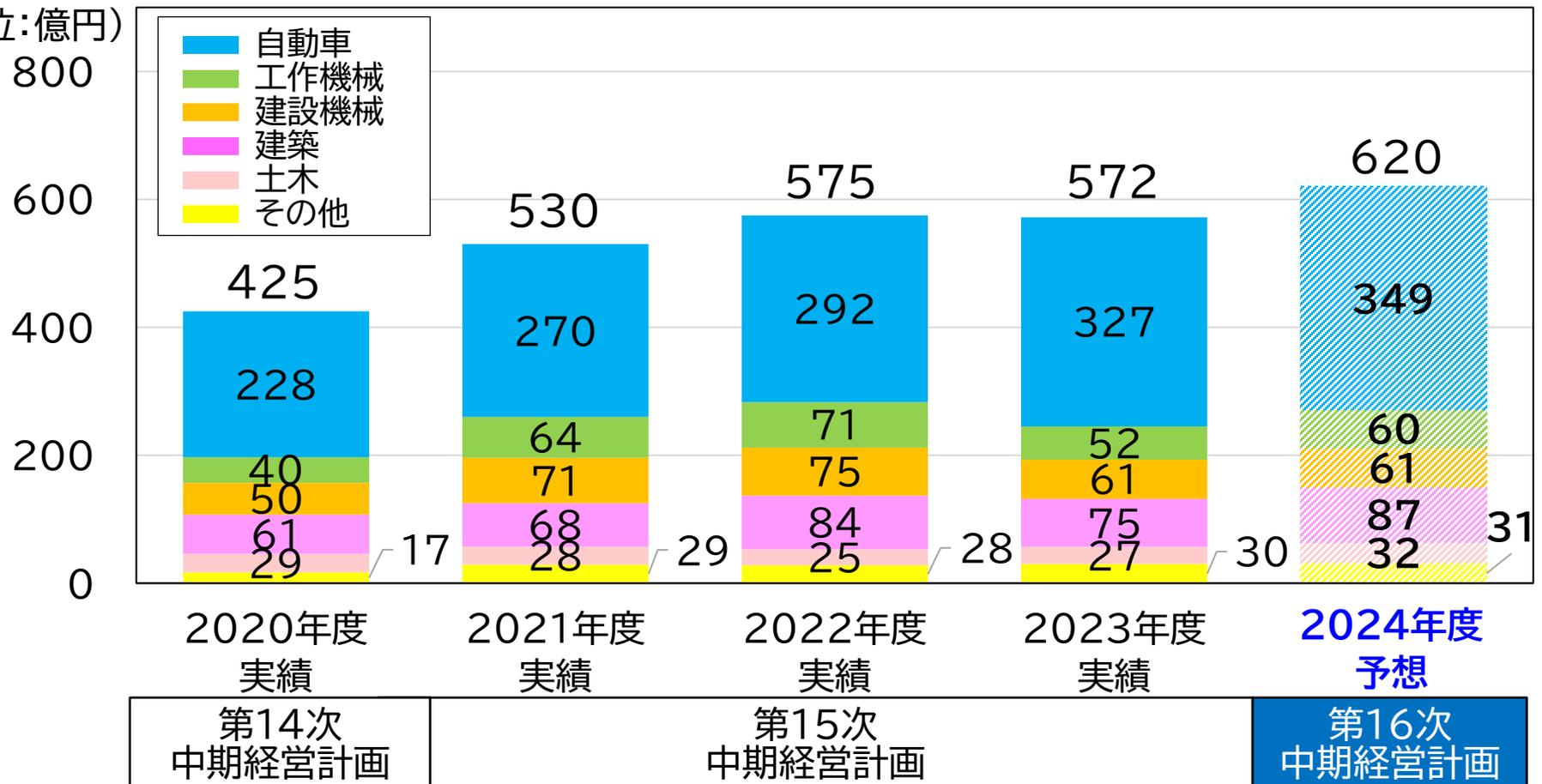
(単位:%)



15. 業界別売上高の推移

- 自動車 : ITW®の販売は堅調に推移、装置の売上も増加
- 工作機械 : 受託加工は顧客からの受注が減少、装置の売上は増加
- 建設機械 : 市況の回復には時間を要する見込み
- 建築 : 価格改定後の建築案件が堅調に進捗
- 土木 : 市況の低迷は継続、鉄道関連物件を中心とした拡販活動を強化

(単位:億円)



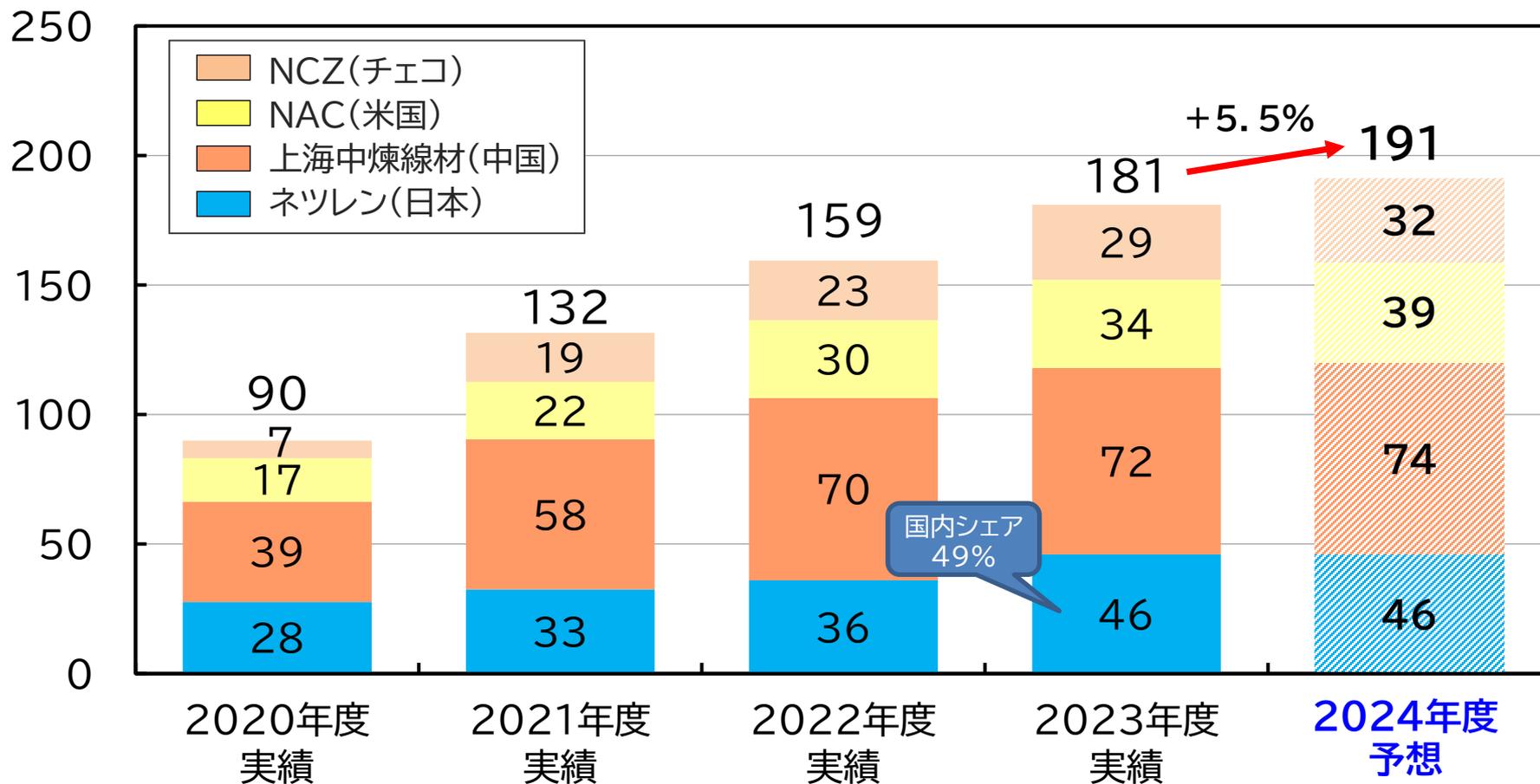
16. 高強度ばね鋼線(ITW®) 売上高の推移

製品事業部 関連



- 国内は前期比横ばい、海外は販売量増と円安の影響による増収
- 中国は当初計画に比べてやや伸び悩み、米国は生産能力を増強
- 前期比5.5%増収を見込む

(単位:億円)



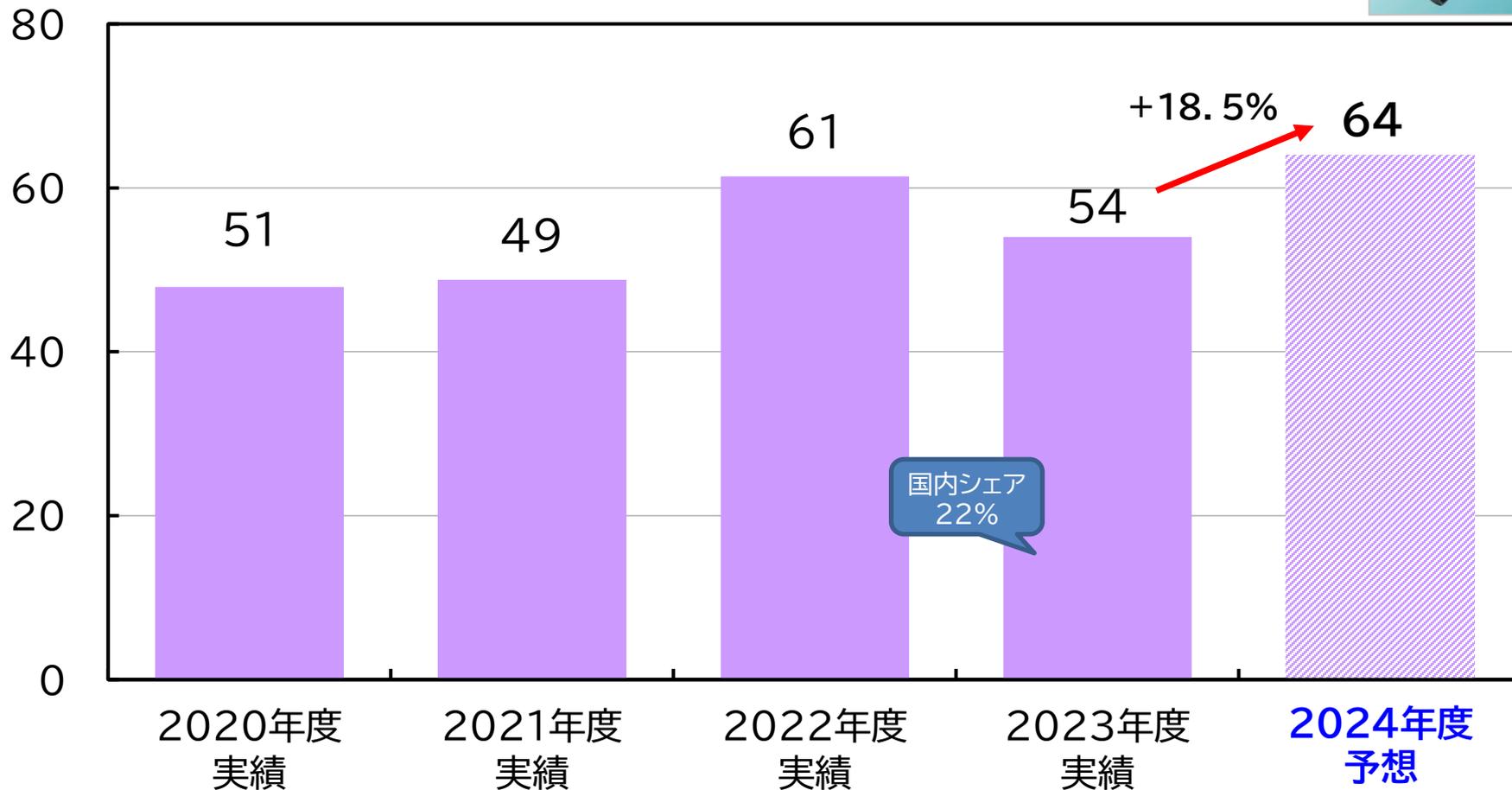
17. PC鋼棒・異形PC鋼棒 売上高の推移

- 土木業界の低迷継続、建築業界における工事遅延、着工遅れなどの影響は当社製品採用案件においては、徐々に解消
- 北海道新幹線など鉄道関連物件を重点に拡販活動を継続
- 前期比18.5%増収を見込む

製品事業部 関連



(単位:億円)



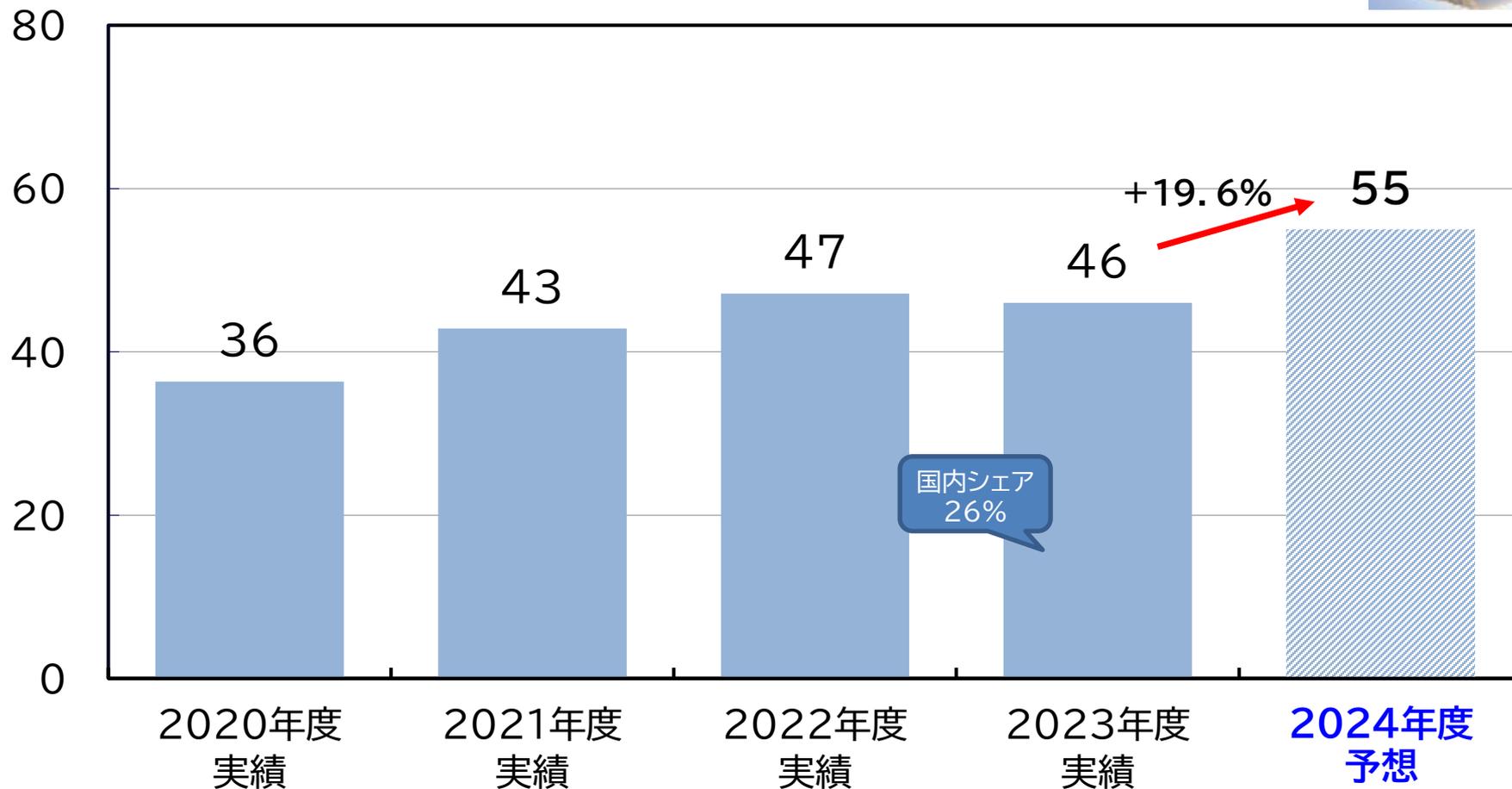
18. 高強度せん断補強筋 売上高の推移

製品事業部 関連



- 鋼材、電力費や輸送費などのコスト上昇分を価格転嫁した製品が徐々に増加
また、当社高強度せん断補強筋を採用した建築案件等が堅調に推移
- 前期比19.6%増収を見込む

(単位:億円)



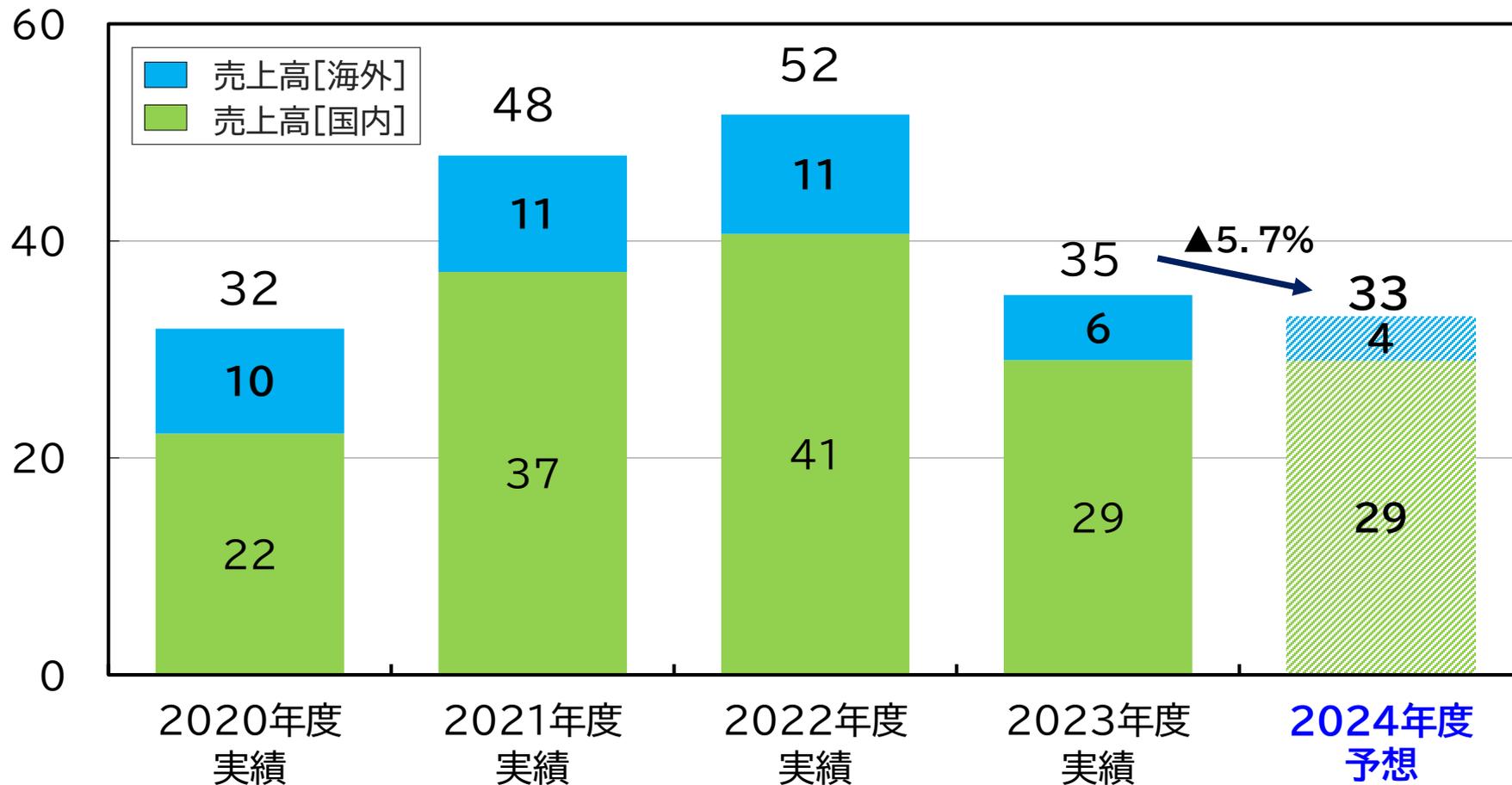
19. 旋回輪(建設機械部品) 売上高の推移

製品事業部 関連



- 日本、中国ともに建設市況の低迷が継続、当社主力の小型・中型機種へも大きく影響
- 前期比5.7%減収の見込み

(単位:億円)



※ グループ内取引を含む

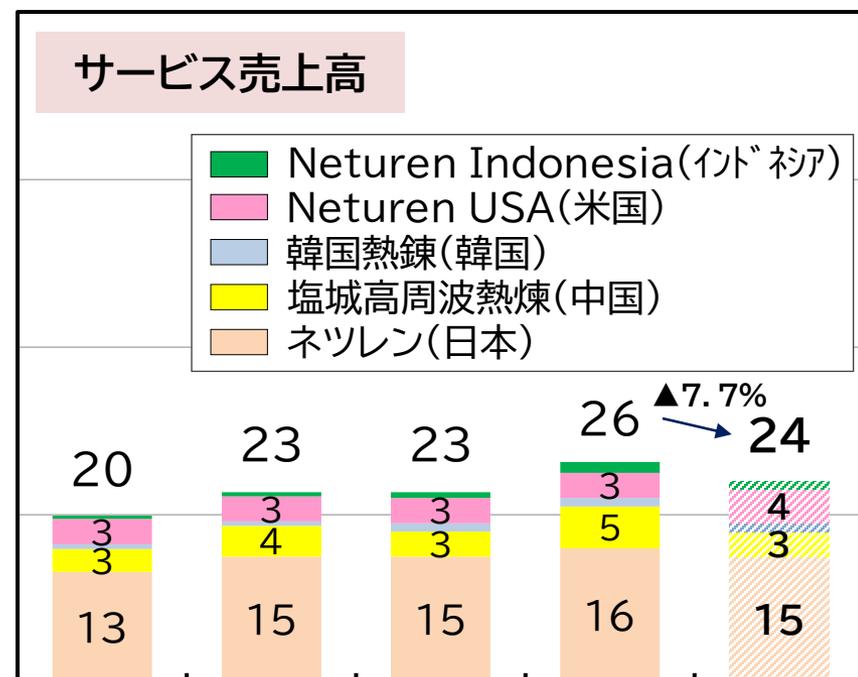
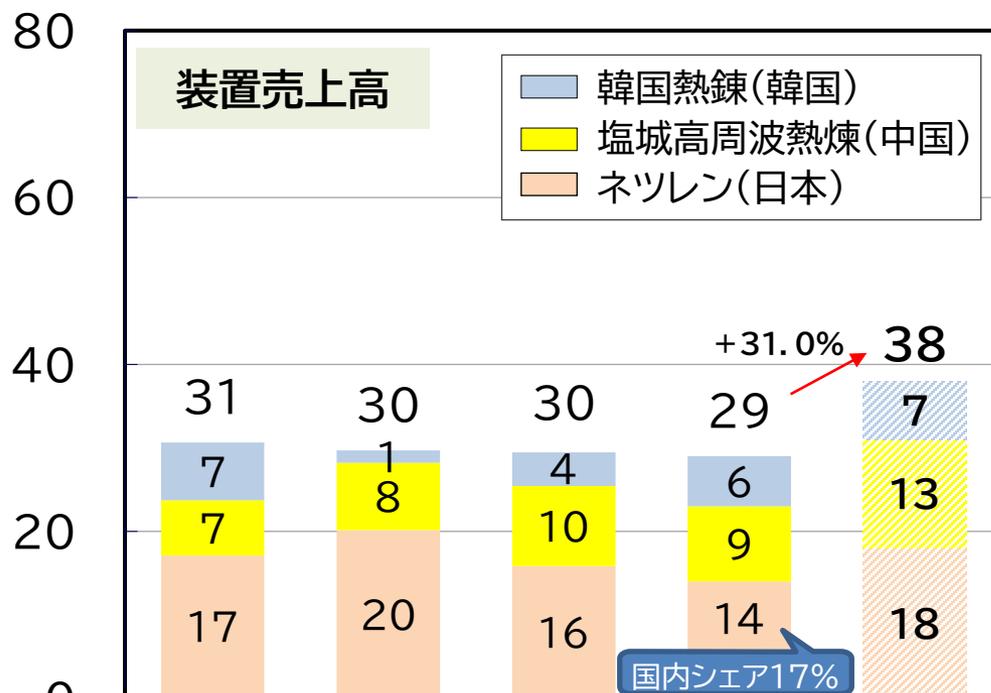
20. 誘導加熱装置・サービス 売上高の推移

- 「装置売上高」 : 日本・海外ともに関連業界からの受注が堅調に推移
前期比31.0%増収を見込む
- 「サービス売上高」: 前期比7.7%減少の見込み

IH事業部関連



(単位:億円)



※ グループ内取引を含む

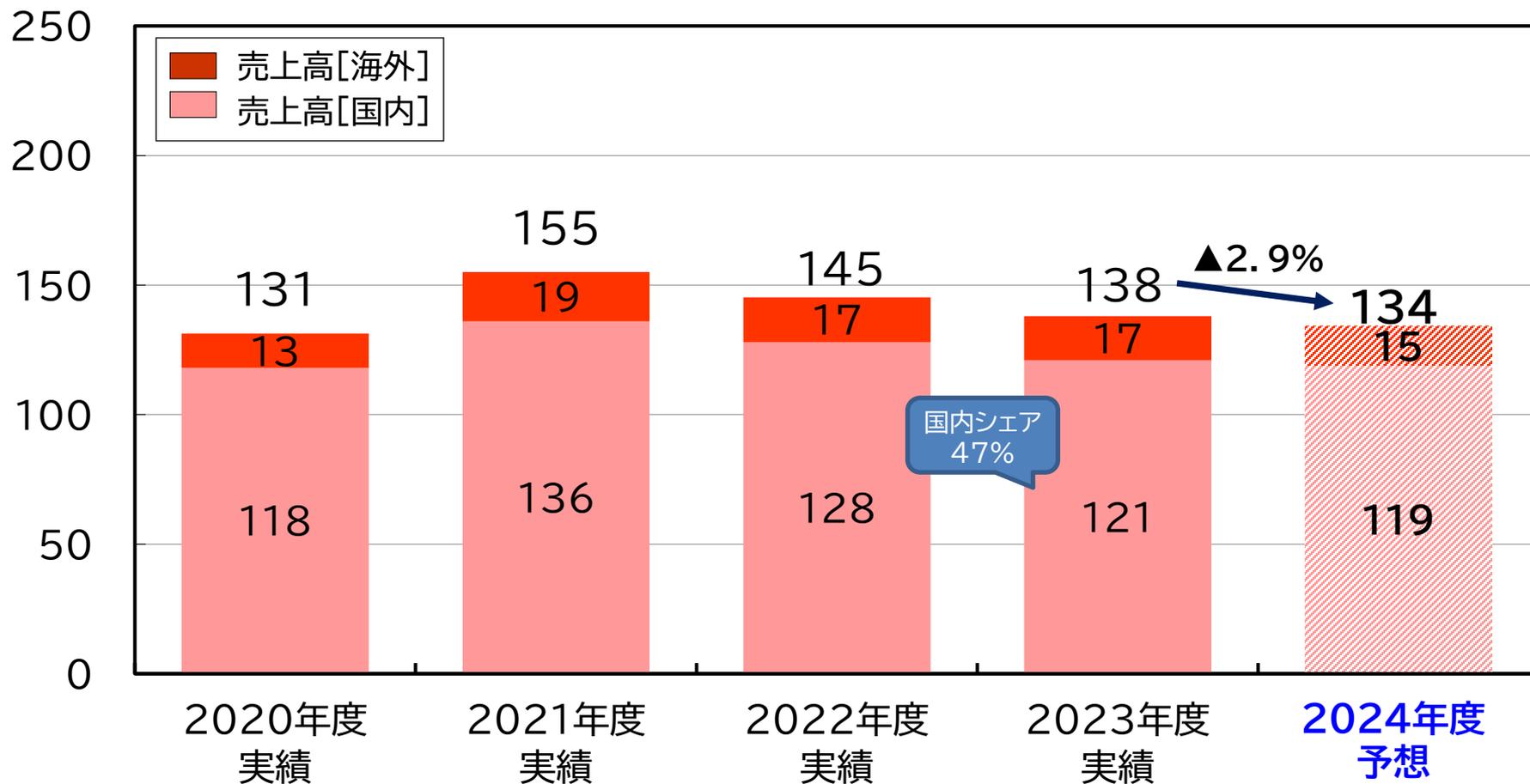
21. 熱処理受託加工 売上高の推移

IH事業部関連



- 自動車業界の受注は堅調に推移
- 建設機械および工作機械業界は、主要顧客の受注が低調に推移
- 前期比2.9%減収の見込み

(単位:億円)



01 2024年度 第2四半期(中間期) 決算の概要

02 経営実績の推移

03 第16次中期経営計画の進捗

04 Appendix



22. 第16次中期経営計画の進捗①

- ・スローガン：**Aggressive Challenge One NETUREN 2026**
- ・趣旨：成長・進化・躍進へグループの総智を**繋げ**積極果敢に挑戦しよう

企業価値向上

4つの戦略	●技術開発 成長ドライバーの創生 ・逆T字モデルを活用し、グループ間の力を 繋げて 、新たな事業・新たな製品・新たな技術を創生	資本コスト経営	●事業ポートフォリオ
	●事業 成長エンジンの育成 ・現場力に新しい技術を 繋げて 、お客様に満足いただける製品・サービス・技術を提供		●ROICの本格導入・展開
	●グローバル グローバルマーケットの拡大 ・情報ネットワークを 繋げて 、未開拓地域も含めグローバル市場を拡大		●キャピタルアロケーション
	●人財 自発的貢献意欲のある人財の育成 ・人財育成を進め、各々の活躍をネットレングループ全体に 繋げて 、企業成長を加速		●資本政策・財務戦略

2026年度 中計目標	売上高	営業利益	営業利益率	ROE	ROA	ROIC
	700億円	46億円	6.5%	6.5%以上	5.5%以上	5.5%以上

23. 第16次中期経営計画の進捗② | 4つの戦略(1/2)

技術開発 | 成長ドライバーの創生

- ・ネツレンMB工法、マイルド浸炭の試作を拡大
- ・3Dプリンターによる誘導加熱コイルの開発
- ・新たな生産技術の開発(ネツレンバテッド工法の開発)
- ・ダブルスタークの用途開発と工法の改良
- ・進化型FPGA電源装置の開発
- ・新たな熱処理プロセス開発(Ti合金部分熱処理など)
- ・CAE、AIなどの活用による熱処理方案のモデルベース開発

事業 | 成長エンジンの育成

製品事業部
関連

- ・高強度せん断強筋、PC鋼棒大型案件で受注拡大
- ・プレグラウトPC、NAPP拡販
- ・溶接フープ統合機、ITW原材料疵のAIによる自動識別
／自動研磨ライン開発
- ・検査自動化(ワーリング材、FIT、ラックバー等)

IH事業部
関連

- ・工場再編プロジェクト「REBORN刈谷」始動
- ・太陽光パネルを茨城・尼崎工場に続き岡山第二工場へ設置

24. 4つの戦略『成長ドライバーの創生』[事例1/2]

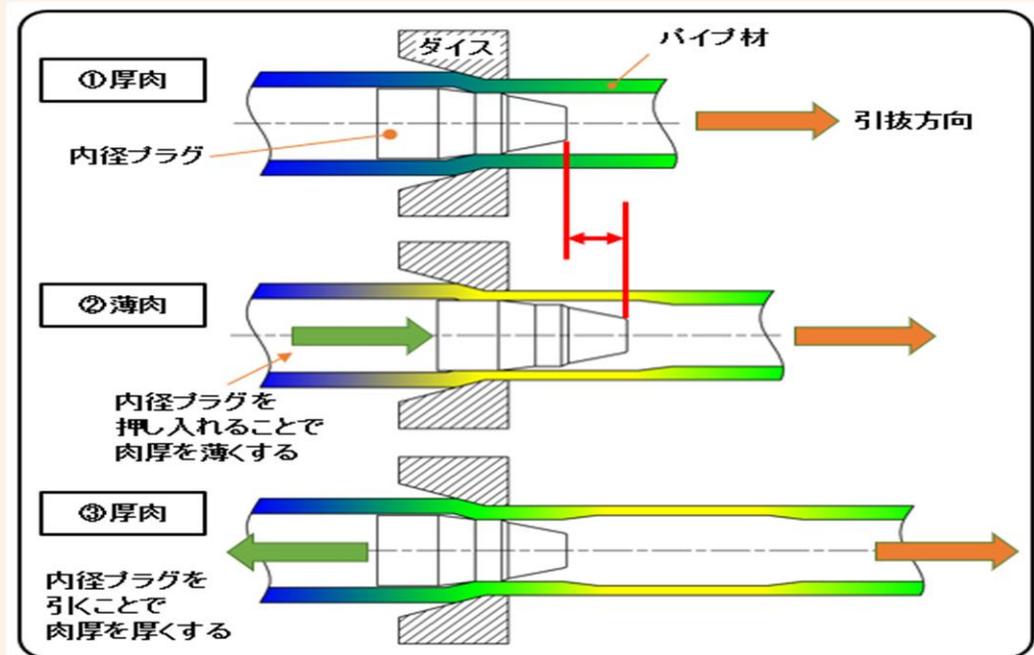
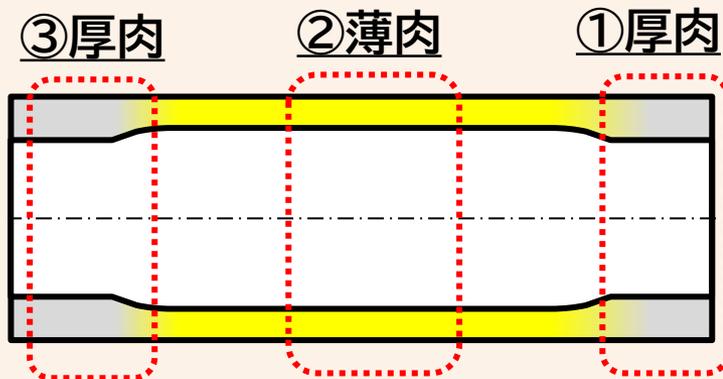
■ネツレンバテッド工法の開発

開発事例

- ・パイプ材引抜加工時に肉厚を変化させる特殊な工法
- ・内径プラグ動作タイミングで厚肉⇔薄肉は自由自在

・引抜加工したパイプ材をIH熱処理で、高強度と軽量化を両立

段差がついた内径プラグを
押す→薄肉
引く→厚肉



肉厚を変えるメカニズム

25. 4つの戦略『成長ドライバーの創生』[事例2/2]

■完全エアレスの焼入装置

納入
実績例

- ・当社電機部名古屋工場 初出荷製品
- ・従来のエア稼働から電動駆動に変更
(変更箇所) 正面扉・払い出し部・上センター部

- ・コンプレッサーの稼働台数削減
- ・エア漏れによる「無駄」削減
- ・ランニングコストの低減や
CO2削減に貢献



エアレス型焼入装置

26. 4つの戦略『成長エンジンの育成』 [事例1/2]

■高強度せん断強筋、PC鋼棒大型案件で受注拡大

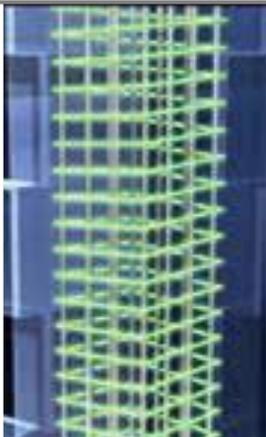
『北海道新幹線』構造物へPC鋼棒等拡販

- ・高強度せん断補強筋：RCラーメン構造の高架橋柱部分
- ・PC鋼棒：レールを支えるスラブ軌道板

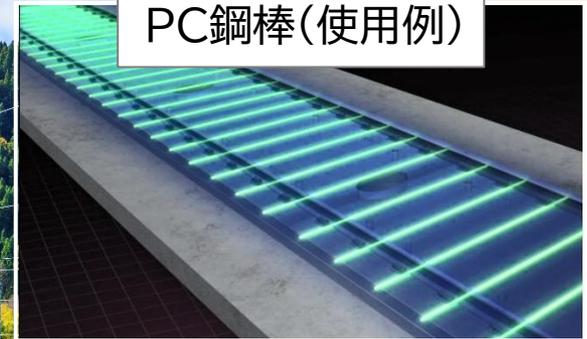
全18工区中
8工区で採用決定

2025年
納品開始予定

高強度せん断
補強筋(使用例)



PC鋼棒(使用例)



JR北海道商品化許諾済

27. 4つの戦略『成長エンジンの育成』 [事例2/2]

■工場再編プロジェクト『REBORN刈谷』始動

《目的》

生産性向上

生産能力増強

収益性向上

約15億円
プロジェクト
スタート

新規熱処理設備(自動車用足回り部品)
導入で2025年に生産能力1.2倍へ増強



刈谷工場



CVJ焼入焼戻装置



BJシャフト焼入装置

28. 第16次中期経営計画の進捗② | 4つの戦略(2/2)

グローバル | グローバルマーケットの拡大

製品事業部 関連	<ul style="list-style-type: none">・ネツレン アメリカの工場建屋増築・SPRING WORLD 2024へ出展、新規取引増加・太径ITW、新たな用途開発、新商品開発推進
IH事業部 関連	<ul style="list-style-type: none">・ネツレン インドネシアの工場建屋増築・ネツレンUSAで、FPGA電源サービス体制を構築・韓国熱錬、塩城高周波熱煉で、FPGA電源の製造・販売

人財 | 自発的貢献意欲のある人財の育成

●VISION・中期経営計画 の浸透	<ul style="list-style-type: none">・社長・幹部メッセージ発信／拠点別中計浸透会実施・社長診断でトップメッセージ発信(9回／～11月)
●自発的貢献意欲の醸成	<ul style="list-style-type: none">・社内／社外人財交流の活性化
●グローバル人財強化	<ul style="list-style-type: none">・海外トレーニー制度1名適用、語学研修8名受講・日本・海外駐在同士の交流実施
●スキルマップのシステム化	<ul style="list-style-type: none">・2025年4月システム導入に向け、デモ説明会実施
●多様な人財活躍	<ul style="list-style-type: none">・女性社外役員と女性従業員との情報交換会を実施

■ ネットレン アメリカ工場建屋増築

ITW製造能力増強

<工場概要>

- ・所在地 : アメリカ合衆国オハイオ州ハミルトン
- ・工場建屋増築面積 : 約2,600㎡
- ・工事完了 : 2024年4月
- ・製造ライン増設 : 引抜1ライン 熱処理1ライン
- ・太径サイズ対応 : 直径17mm以上の線径にも対応可能
- ・投資額※ : 約10億円

※第15次中期経営計画期間からの累計



増築した建屋



工場内設備

- ・ 2024年8月
増設ラインの
OEM承認完了
- ・ 2024年10月
フル生産体制整備

■ ネットレン インドネシア工場建屋増築

生産能力増強

<工場概要>

- ・所在地 : インドネシア共和国西ジャワ州ブカシ県
- ・工場建屋増築面積 : 約3,600㎡
- ・工場完成予定 : 2025年3月
- ・投資額 : 約9億円
- ・2024年8月工場増設の地鎮祭実施、工事着手



地鎮祭の様子



完成予想図

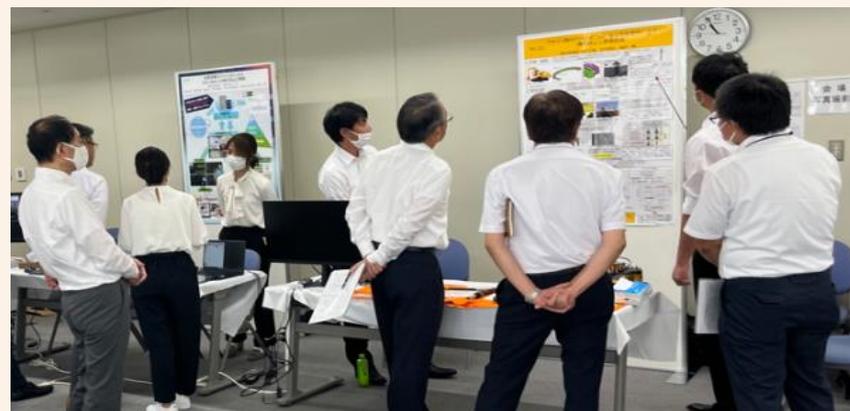
31. 4つの戦略 『自発的貢献意欲のある人財の育成』 [事例1/2]

■ 全社技術報告会

(研究開発本部と製品技術本部によるポスターセッション)

<実施概要>

- ・2024年9月開催
- ・ネツレン初のポスター発表形式で、各事業部やグループ会社から発表
- ・新商品・新技術の早期実用化・事業化に向けた活発な意見交換を実施



全社技術報告会の様子

■九州大学 構造用金属科学講座 土山研究室殿との技術交流会

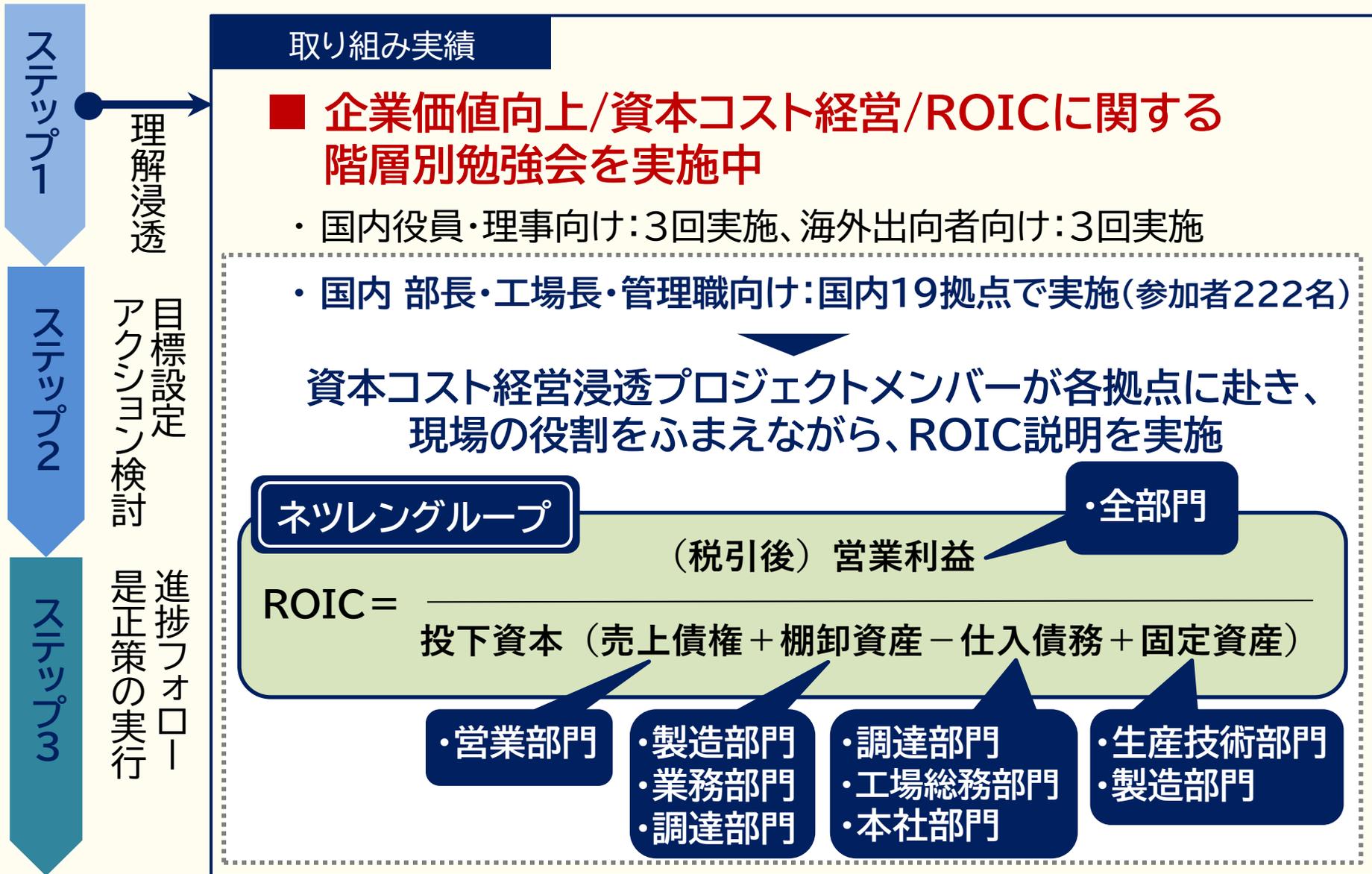
<実施概要>

- ・2024年9月開催
- ・2006年10月から継続的に開催
- ・当社が抱える技術的課題や新技術開発の議論、最新研究成果の紹介
- ・鉄鋼材料に精通した学生の皆さんと活発な議論を実施



九州大学 土山研究室殿との技術交流会様子

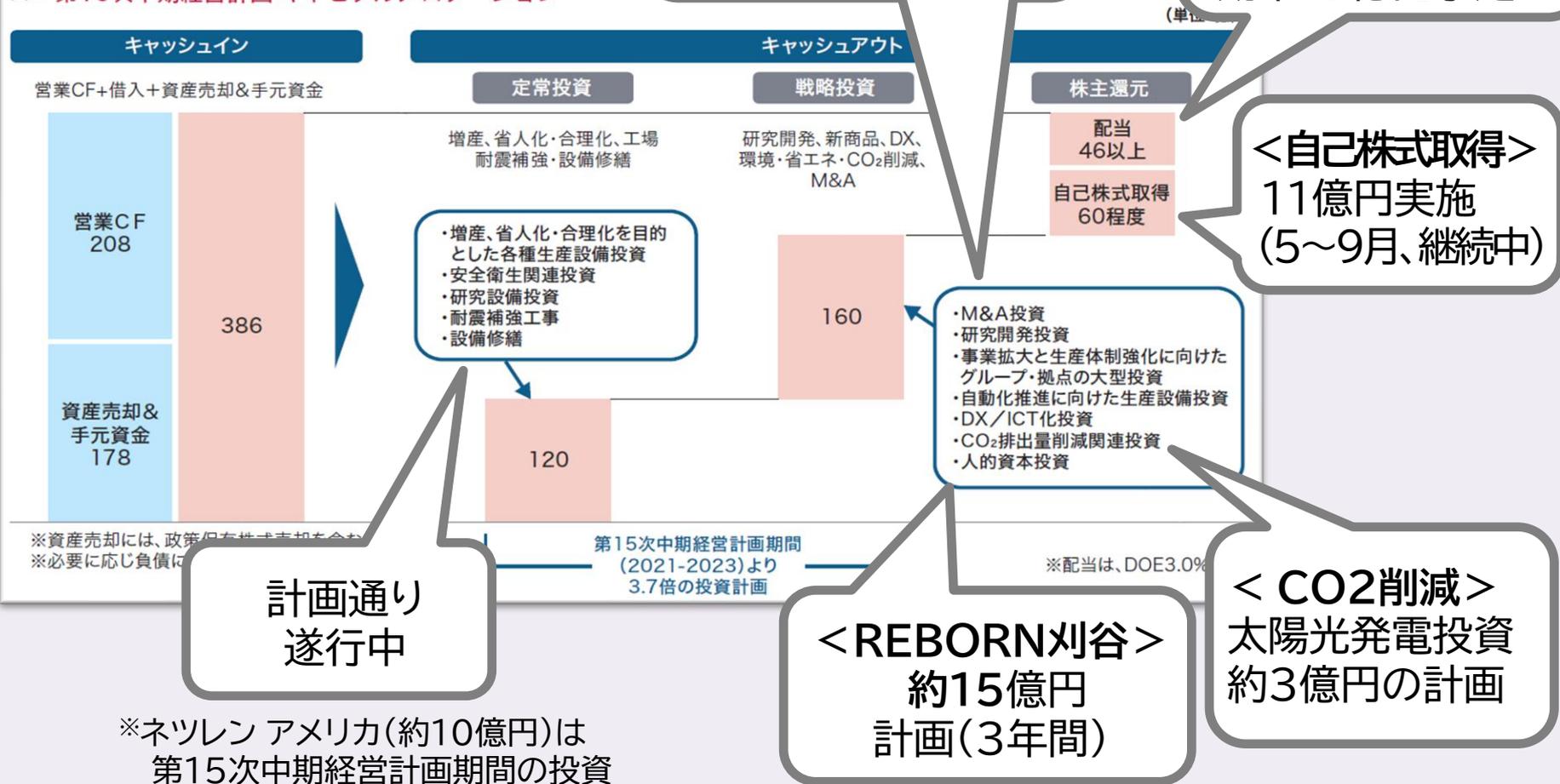
33. 第16次中期経営計画の進捗③ | 資本コスト経営



34. 第16次中期経営計画の進捗④ 【キャピタル・アロケーション】

・第16次中期経営計画
説明資料より

図2: 第16次中期経営計画 キャピタルアロケーション



35. 第16次中期経営計画・ポスター

NETUREN VISION 2030
「進化と躍進」
2021.4～2031.3

あるべき姿
企業価値を高め続けるとともに
持続可能な社会づくりに貢献する

目指す姿
CO2排出削減に有効なIH熱処理技術を核とする技術・
製品を通じ、企業価値を高めて環境負荷を低減する
N-DXの展開を進め、グループ全員の力を結集して
進化を続け、グローバルに躍進する

第16次中期経営計画 スローガン 2024.4～2027.3[3年間]

**Aggressive Challenge
One NETUREN 2026**

企業価値向上

技術開発
成長ドライバーの創生

事業
成長エンジンの育成

グローバル
グローバル市場の
拡大

人財
自発的貢献意欲の
ある人財の育成

資本コスト経営



第16次
中期経営計画





WEBサイト



統合報告書
2024



(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。

01 2024年度 第2四半期(中間期) 決算の概要

02 経営実績の推移

03 第16次中期経営計画の進捗

04 Appendix



会社概要

ネツレンは1946年、わが国で初めてIH(誘導加熱)技術の事業化・工業化に成功したパイオニア企業です。創業以来蓄積されたIH(誘導加熱)技術の中核とし、金属製品の製造と受託加工、装置販売の事業展開をしています。

商号	高周波熱錬株式会社(ネツレン)
所在地	東京都品川区東五反田二丁目17番1号 オーバルコート大崎マークウエスト
設立	1946年(昭和21年)5月15日(現社名)
資本金	64億18百万円
売上高 (2024年9月末)	連結:290億2百万円 単体:157億29百万円
従業員数 (2024年9月末)	連結:1,624名 単独894名
金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード:5976



代表取締役社長執行役員
大宮 克己

国内・海外ネットワーク

国内: 9社25拠点

海外: 6カ国15社16拠点

(米国、中国、チェコ、インドネシア、韓国、メキシコ)

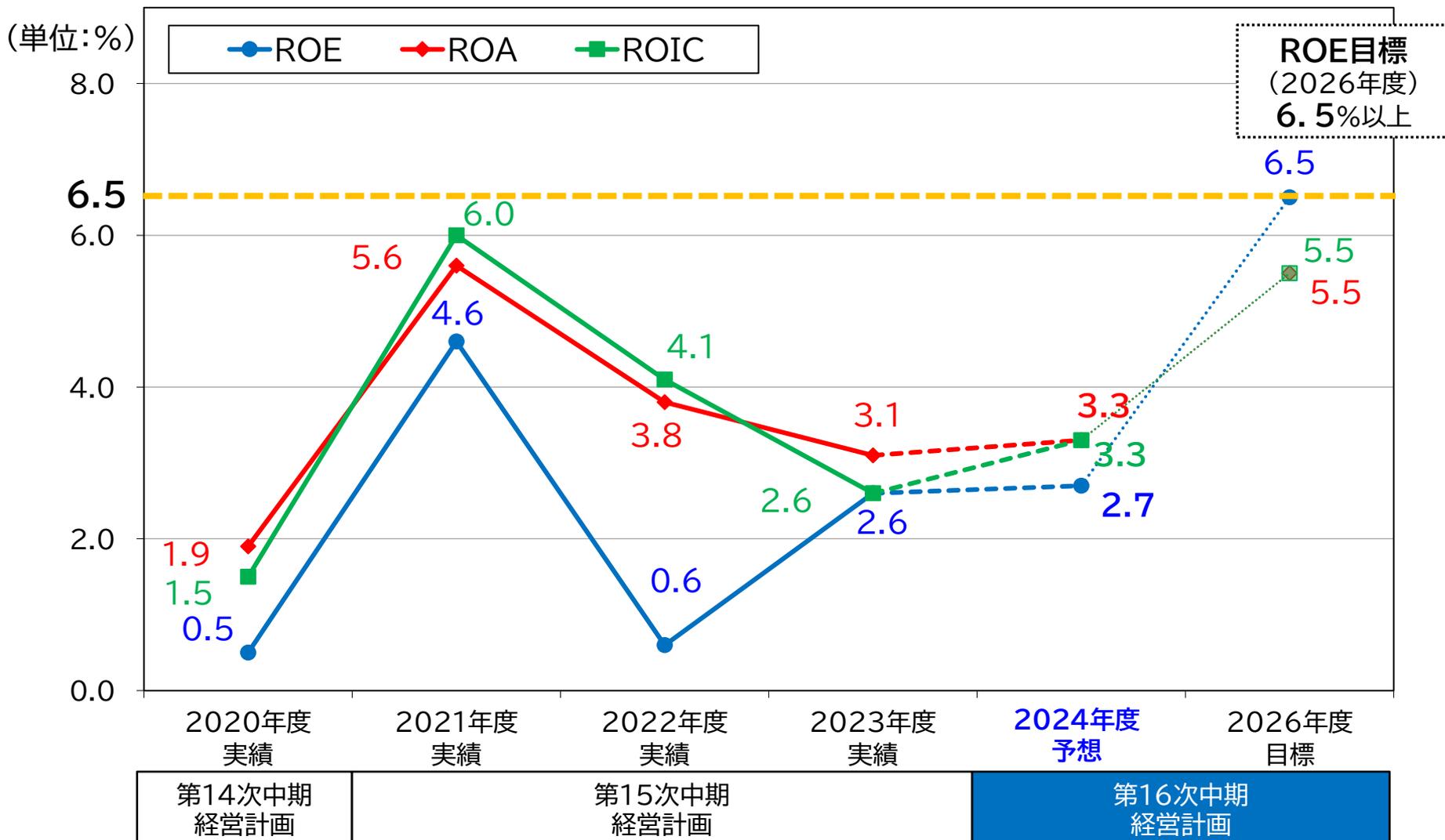
(2024年9月末現在)

- ① いわき工場 ② 茨城工場 ③ 本社 ④ 人財育成センター
- ⑤ 湘南事業所・平塚工場 ⑥ 可児工場・可児NH工場 ⑦ 名古屋工場
- ⑧ 刈谷工場 ⑨ 製品事業部大阪営業所 ⑩ 尼崎工場 ⑪ 神戸工場
- ⑫ 赤穂工場 ⑬ 岡山工場



ROE・ROAの推移

- 2023年度実績は、ROE2.6%、ROA3.1%（ROICは、2.6%）



事業内容

【製品事業部関連事業】

高強度鋼材製品

自動車



建築



土木



中空ラックバー(自動車)



旋回輪(建設機械)



一貫加工部品

インナーチューブ
(2輪車)



【IH事業部関連事業】

自動車



熱処理受託加工

建設機械

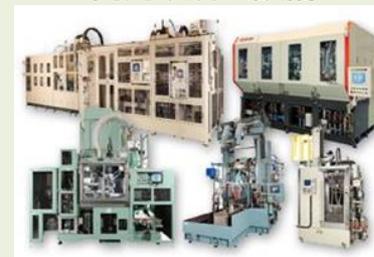


産業・工作機械



IH
(誘導加熱)
技術

高周波焼入設備



高周波電源



誘導加熱装置

【その他】 賃貸事業他

業界別「売上高」比率

